

教育課程

		年間授業時数		
		第1学年	第2学年	第3学年
教 科	国語 (毛筆・硬筆)	140 (10・10)	140 (10・10)	105 (5・5)
	社会 (地・歴・公)	105 (55・50・0)	105 (60・45・0)	140 (0・40・100)
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育 (保・体)	105 (16・89)	105 (16・89)	105 (18・87)
	技術・家庭 (技・家)	70 (35・35)	70 (35・35)	35 (18・17)
	英語	140	140	140
	小計	895	875	875
特別の教科 道徳		35	35	35
特別活動(学級活動)		35	35	35
総合的な学習の時間		50	70	70
計		1015	1015	1015

日課表

	5校時時程	6校時時程
朝の会	8:30 ~ 8:45	
1校時	8:55 ~ 9:45	
2校時	9:55 ~ 10:45	
3校時	10:55 ~ 11:45	
4校時	11:55 ~ 12:45	
給食	12:45 ~ 13:20	
昼休憩	12:20 ~ 13:35	
5校時	13:40 ~ 14:30	13:40 ~ 14:30
6校時		14:40 ~ 15:30
帰りの会	14:40 ~ 14:55	15:40 ~ 15:55
掃除	15:00 ~ 15:10	16:00 ~ 16:10
完全下校時刻		16:45

表紙の写真について

アンネのバラ広めたい
ホロコースト記念館 幸千中生が接ぎ木

ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害の犠牲になった少女アンネ・フランク(1929~45年)と関係が深い「アンネのバラ」を広める活動に取り組むホロコースト記念館(福山市中津原)は14日、バラの接ぎ木会を開いた。近くの福山市立幸千中の1,2年生ら11人が平和への思いを込めて取り組んだ。

生徒は同校に「アンネのバラ」の花壇を作るため参加した。台木となる野バラの根の断面にナイフで切り込みを入れ、長さ5cmほどのアンネのバラの枝を差し込み、テープで固定。福山ばら会のメンバーの指導を受け、約2時間半で100本を接ぎ木した。

バラ約30本は同校に持ち帰り生徒が育てる。ほかの接ぎ木は苗にして同館から全国に贈られる。2年山元聡真さん(14)は「木が堅くて切るのが大変だった。責任を持って育て、きれいな花を咲かせたい」と話した。

アンネのバラは例年5,10月ごろ開花。咲き始めの黄色からピンク、赤色へと変化する。ベルギーの園芸家が名付け、アンネの父オットー・フランクさんが日本に寄贈して全国に広がった。同館では95年の開館時から育てている。

山陽新聞 2023年(令和5年)1月17日に掲載された写真と記事
※山陽新聞社提供



福山市立幸千中学校
〒720-0004 広島県福山市御幸町中津原1270番地
Tel 084-955-0121 Fax 084-955-2492
http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-kosen
mail: chu-kosen@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp



2023年度(令和5年度)

福山市立幸千中学校
学校要覧



アンネのバラの接ぎ木に取り組む生徒
ホロコースト記念館でボランティアグループ Small Hands と共に
2023.1.14



幸千中学校区
幸千中学校・千田小学校・御幸小学校

3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう

校歌

三	純潔の風 草に吹き 芦田川 水澄むところ 友よ呼べ 腕を組み 我らみな 花ひらく日 ああ 幸千中の 名に誓う 意気よ 誇りよ 消ゆるなく	二	再びは 来ぬ日を告げて 時の鐘 我らを誘う 友よ聞け こだまして 高らかに わく歌声 ああ 幸千中の 名につどう 夢よ 望みよ 限りなく	一	大空に 日は新しく 光あう まなびやの窓 友よ見よ はるかに ひらけ行く 真理の道 ああ 幸千中の 名にこぞる 知恵よ ちからよ 惜しみなく	校歌	作詞 木下夕爾 作曲 小倉朗
---	---	---	---	---	---	----	-------------------

生徒数

学年組	1年		2年		3年		小計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1組	20	15	19	20	18	17		
2組	20	15	20	20	19	16		
3組	18	17	20	20	19	17		
4組	18	17	19	20	18	16		
5組	19	16	20	19	18	16		
6組	19	17			19	17		
小計	114	97	98	99	111	99	323	295
7-1R	3	0	0	0	1	1	4	1
7-2R	0	0	3	2	0	0	3	2
8-1R	1	0	3	1	2	1	6	2
8-2R	1	1	3	3	0	0	4	4
小計	5	1	9	6	3	2	17	9
計	119	98	107	105	114	101	340	304
学年計	217		212		215			
総計	644							

2023年(令和5年)4月1日現在

生徒数の推移

2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
619	615	628	628	623	589	587	621	644

部活動

運動系(9部)	文科系(5部)
陸上競技	吹奏楽
軟式野球	美術
ソフトテニス(女)	科学技術
バスケットボール(女)	家庭
卓球	文芸



学校経営方針

学校教育目標 有為の人
～夢の実現にむけ、真摯に努力する生徒の育成～

ミッション【使命】
福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン【将来像】

実現目標
○ Well-beingの理念の実現
○ SDGsの実現

めざす学校の姿
○ 温もりとやさしさがあふれ、命と生き方を大切にする学校
○ 誰もが過ごしやすい学校、誰もがやり直しができる学校
○ 探究学習(問題発見・解決学習)を追究する学校
○ 保護者・地域から信頼される学校

めざす生徒の姿
○ 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる生徒
○ 主体的に学ぶ生徒
○ 自分を大切に、他者を思いやる生徒
○ 社会貢献ができる生徒

意識するライフスキル
○ セルフエスティーム形成スキル
○ 意思決定スキル
○ 目標設定スキル
○ ストレス対処スキル
○ 対人関係スキル

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)
「思考力・創造力」「表現力」「思いやり」「能動的市民性」

本年度重点目標
決(きめる)・挑(いどむ)・創(つくる)
○ 決める ⇒ 生徒の意思決定スキルが向上する。生徒が各種検定を活用する。
○ 挑む ⇒ 生徒が問題を発見する。生徒が問題解決をめざす。(探究学習)
○ 創る ⇒ 生徒が地域ボランティアを創る。生徒が幸千の歴史を創る。生徒が未来を創る。

知・徳・体
(知) 基礎基本の定着、「生きた知識」の獲得、自己効力感の向上
(徳) 生徒会活動の充実、ボランティアの充実、いじめを許さない学校風土づくり、仲間づくり
(体) 基本的な生活習慣の確立、ライフスキル向上、体力向上、食育推進、学校保健委員会の充実

探究学習の主な機会
全校 学級活動、生徒会活動(各種委員会、生徒総会)、ボランティア活動、体育祭、文化祭
1年 いじめ防止プロジェクト、平和学習、防災学習、進路学習①
2年 インターンシップ(修学旅行を活用した取材、プレゼン大会)、平和学習、進路学習②
3年 福山探究学習、リーダー探究学習、平和学習、進路学習③

保護者・地域
○ 学校情報の発信をする
○ ふるさと学習を充実する
○ 地域と連携する(和歌山記念館、公民館等)
○ 地域ボランティアに積極的に参加する
○ 地域行事・PTA活動に積極的に参加する
○ 小学校と連携する

教職員
○ 自己の崇高な使命を深く自覚する
○ 絶えず研究と修養に努める
○ ワークライフバランスを意識する
○ 同僚性を大切にする
○ 決める、挑む、創る
○ 個性を認められ、やりがいを感じる

主な行事

月	行事	ボランティアデー
4月	就任式、始業式、入学式、健康診断、参観日、PTA総会	3年
5月	若鶴祭(体育大会)、健康診断、生徒総会、避難訓練	3年
6月	福山地区春季総体、喫煙防止教室(1年) 健康診断、参観日、進路学習会(3年)、期末試験	1年
7月	県選手権大会、三者懇談、終業式	2年
8月	夏季休業日、登校日	
9月	始業式、避難訓練、参観日(1, 3年)、修学旅行説明会(2年)	1年
10月	新人総体、若鶴祭(文化祭)、避難訓練、修学旅行(2年)	全校
11月	学校へ行こう週間、期末試験、生徒会選挙、進路学習会(3年)、進路懇談(3年)薬物乱用防止教室(3年)	2年
12月	飲酒防止教室(2年)、三者懇談、終業式	
1月	始業式、学年末試験(3年)、参観日(1・2年)	1年
2月	入学説明会、職場体験学習(1年)、学年末試験(1・2年)	2年
3月	卒業式、修了式、離任式	3年



教えるとは 希望を語ること
学ぶとは 誠実を胸にきざむこと